

社会福祉法人ふるさと会 令和3年度事業報告

ふるさと会は開設以来「その人がやりたい事をサポートしていく」という、自立した生活支援を理念の一つに掲げてきました。「自立した生活」とは、自分の事について自己選択、自己決定できる、つまり最期まで自分の人生を生きる事です。

私たち福祉の仕事はそれを支援できる素晴らしい仕事であることに誇りを持ち、介護の魅力を発信していきたいと思えます。

【重点目標】

1. 新型コロナウイルス感染症や大規模災害への対応力を強化する。
2. 地域包括ケアシステムの中での自施設の役割を推進していく。
3. 自立支援と重度化予防を助ける質の高い介護サービスを提供する。
4. 多様な人材の確保と生産性向上を進める。
5. 地域に貢献できる施設づくりを行う。

【ふるさと会全体取り組み報告】

1. 主な行事

日程	内容	場所	日程	内容	場所
8月7日(土)	ヘリオス納涼祭 (スチールパン演奏)	ヘリオス	11月19日(金)~ 12月17日(金)	利用者作品展	ヘリオス 1F
9月5日(日)	風花の里まつり	特養 風花の里	12月28日(火)	もちつき	ヘリオス
10月12日(火)	運動会	太平洋 セメント グラウンド			

※9月熟年会(敬老会)・1月の新年会は各部署で開催。

2. 主な地域交流・貢献活動

(1) 法人独自の取り組み報告

内容	日程	場所	参加者・人数
いきいき百歳体操	毎週水曜日 (10月11日~11月30日の7回開催)	ヘリオス1F 多目的ホール	地域住民・ケアハウス入居者 平均15名程
防災訓練	令和3年7月8日(火) 令和3年9月9日(火) 令和3年11月11日(火) 令和4年3月10日(木)	ヘリオス	利用者職員平均80名程

(2) 事業所独自の取り組み報告

夕顔収穫祭	4月21日(火).5月20日(水).6月18日(木).7月17日(金).8月10日(月).9月15日(火).11月18日(水).12月17日(木).1月15日(金).2月15日(月).3月16日(火)	特養風花の里	利用者・職員 利用者平均22名 職員平均6名
農福連携 野菜出荷作業 アルバイト	5月1日～27日(にんにく) 9月7日～30日(サトイモ)	サービス付き高齢者 向け住宅 はるのガーデン	利用者・職員 利用者平均13名 職員平均4名

3. 主な研修

研修名	日程	場所	参加者・人数
新人研修	令和3年4月1日(木)～2日(金)	ヘリオス	新規採用・中途採用者6名
新人サポーター養成研修	4月9日(金)・令和4年3月11日(金)	ヘリオス	職員8名(前期・後期)
高知県災害派遣チームスキルアップ 研修	8月31日(火)	交流プラザ	職員9名
高知県災害派遣チーム養成研修	10月25日(月)	交流プラザ	職員7名
機能訓練員・介護職員・看護職員 合同研修会	11月9日(火)	ヘリオス	職員16名
コミュニケーション力向上研修	12月22日(水)	交流プラザ	職員1名
介護現場での看取りケア	令和4年1月28日(金)	ヘリオス	職員2名
ノーリフティングケアフォーラム	令和4年1月30日(月)	交流プラザ	職員2名
自衛消防業務新規講習	令和4年2月8日(火)～9日(水)	防災センター	職員2名
人事考課での評価の仕方	令和4年3月6日(日)	健康カフェ	職員27名

4. 教育員会主催の全体勉強会

開催月	主催委員会	(メディパスアカデミー)オンライン
令和3年5月	休会	
6月	食中毒/感染症予防委員会	○
7月	休会	
8月	事故防止検討委員会	○
9月	身体拘束適正化検討委員会	○
10月	災害対策委員会	○
11月	食中毒・感染委員会	○
12月	看取りを考える	○
令和4年1月	褥瘡予防対策	○
2月	身体拘束適正化検討委員会	○
3月	休会	
4月	休会	

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の為、オンラインにて各部署開催する。

1.新型コロナウイルス感染症や大規模災害への対応力を強化する。

「入所・在宅サービス部門」

高知県から、コロナ状況が変化する毎に発信している県民・事業者へのガイドラインにあわせ、ふるさと会から職員向けに、利用者様・職員のマスク着用、3密回避、換気、手洗い等徹底通知を朝礼・部署会張り紙で行いました。また、ふるさと会のBCPマニュアルと各事業所ごとのCPマニュアルを作成し、陽性者が発生した際の早急な対応に備えました。

その他、感染症予防対策委員会を中心に勉強会を開催した他、外部研修に参加し、世の中の同行を法人に持ち帰り伝達周知をしてきました。

その結果、1年間でのコロナ感性者は、利用者様7名、職員4名でした。

大規模災害対策につきましては、年4回、マニュアルに添った防災訓練を行いました。

訓練内容は、夜間想定、大規模地震後の火災等様々な状況を想定した訓練を実施しました。

防災設備については、全職員対象で勉強会を行い、もしもの時に設備が使えないことが無いようにまた、備蓄・備品の確認も委員会日にあわせて実施いたしました。

2.地域包括ケアシステムの中での自施設の役割を推進していく。

「入所サービス部門」

新型コロナウイルスの流行に伴い、外出自粛期間が長期にわたってありました。

近隣への散歩や部署ごとに行事を開催する等少人数での対応を行いました。

また、面会制限時はオンラインでの面会がメインになりました。時間の制限はありましたが、ヘリオスでは旧喫茶店を面会室にして、お話をさせていただきました。

また、介護実習生の受け入れは、ワクチン接種者や検査を行って頂き、継続して行いました。

「在宅サービス部門」

コロナ過でしたが、新規利用者受け入れの制限を設けることなく、新規利用の依頼には迅速な対応をし、他事業所との連携強化を心掛けました。

地域ケア会議への参加、運営推進会議の開催、介護・看護実習生の受け入れ、

内田グループ相談員会議及びふるさと会相談員会議を定期開催し利用者様の情報交換を行ないました。

3.自立支援と重度化予防を助ける質の高い介護サービスを提供する

ノーリフティングケアについて

床走行式リフトやスタンディングリフト(スマイル・カールくん等)の福祉機器を活用し、抱え上げない・引きずらない・持ち上げないケアに努めました。

そうする事で、利用者の筋緊張緩和や食欲また、機能訓練にも繋がりノーリフティングケアの目的でもあります利用者・職員双方が安心して安全に生活また、仕事が送れますようにと福祉機器の活用頻度が増える事で、利用者のADL向上や職員への体の負担が軽減し腰痛予防にも繋がってきています。

特別養護老人ホーム森の里高知では、入浴時にも介護リフトを導入し、“安心安全に入浴ができます”という取り組みが、全国ノーリフティングケアポスター発表大会で、認められ企業賞を受賞しました。

ノーリフティングケア研修

研修名	資格	研修参加者
マイスター養成研修	ノーリフティングケアマイスター	3名
技術リーダー研修	ノーリフティングケア技術リーダー	7名

4.多様な人材の確保と生産性向上

①eラーニング

新型コロナウイルスの感染症拡大で研修の参加が困難な場合や法人全体での勉強会については、eラーニングを活用し各部署内での勉強会に切り替え開催しました。オンラインなので、各事業所全職員の参加が可能になり、各職員の都合の良い時間帯等で勉強をしてもらい、自己研鑽に努めてもらいました。

②介護ソフト(KCIS・ほのぼの)

介護記録ソフトを利用し、リアルタイムに利用者様の情報が、他職種連携や情報の共有ができ、利用者にあった必要な介護サービスが提供できるように記録の電子化を進めています。

令和3年度は特別養護老人ホーム 風花の里へ電子化を導入しました。

記録時間に1日1時間以上かかっていたのが1日30分で入力終了し記録が理由での残業はゼロになっております。

また、記録記載時間の短縮で、利用者に関わる時間が捻出でき、気分転換に屋上庭園等への散歩や行事に時間を使うことができるようになりました。

5.地域に貢献できる施設づくり

(1) 地域に開かれた施設、事業所となるよう取り組みを実施する。

- ・イベントの開催（農福連携・納涼祭・各事業所のお祭り等）

農福連携：春野地区の農家と連携し野菜の箱詰め等作業の実施が行え、

令和3年度も定期的に継続しています。

お祭り：ヘリオス納涼祭や風花の里まつり等、各事業所のお祭りにつきましては、中止ではなく規模の縮小にて開催しました。

(2) 災害に強い施設づくり

- ・火災訓練、南海トラフ地震対策、水害土砂災害対策など年間を通じて訓練を実施しました。(4回/年)

- ・新型コロナウイルス感染予防対策

法人の感染症対策の取り組みとして、感染症対策委員会を重ねふくし企画室会にて検討し、ふるさと会版の感染症ガイドラインの作成をし職員に周知をしました。

また、各事業所ごとの感染症対策のBCPについても完成し各事業所で周知徹底をしています。

- ・高知県災害派遣福祉チーム「DWAT」

2名の職員が参加し合計11名の介護・看護職員が資格取得をしています。